

皇居外苑濠環境保全調査

自然環境局総務課
水・大気環境局水環境課

1. 事業の概要

皇居外苑濠は、観光地としての我が国のシンボルであるとともに、季節のうつろいを感じることができる重要な憩いの場、散策の場として利用され、景観や水辺の快適性を構成する重要な役割を担っているが、近年、アオコの発生等、水質悪化が課題となってきた。

これまで、濠水浄化施設の運転、お濠の底泥の浚渫、アオコの回収等を実施してきたが、水質の改善が十分ではなく更なる改善が求められている。

このため、やすらぎの水環境再生事業として、お濠の水環境の現状分析及び課題抽出を行い、地下水や中水の導入等による水環境再生についてシミュレーションを用いた実証調査を行う。併せて、自然公園等事業の一環として、堆積汚泥量及び底質調査等を行う。

2. 事業計画

調査項目	H21	H22
(やすらぎの水環境再生事業)		
・お濠水辺再生実態把握調査	→	
・環境用水導入の課題抽出検討	→	
・お濠におけるシミュレーションによる実証調査	→	
(自然公園等事業(公共))		
・皇居外苑濠環境保全調査		→

3. 施策の効果

実態把握調査等の結果を踏まえ、皇居外苑濠の水環境改善を図るための本格的事業を実施する。

4. 備考

自然公園等事業(公共) 13,539百万円の内数

やすらぎの水環境再生事業 29百万円の内数

皇居外苑濠環境保全調査

皇居外苑濠の水辺空間

- ・我が国のシンボル
- ・重要な憩いの場

< 現状 >

- ・水源を雨水に依存
- ・汚濁原因物質の流入 等

水環境悪化



千鳥ヶ淵 (H20.7.1撮影)

関係部局と連携した実態把握調査等の実施

環境省

やすらぎの水環境再生事業(水・大気環境局)
環境用水の導入等の検討、シミュレーションモデルの作成・解析

自然公園等事業費(公共)(皇居外苑濠環境保全調査)(自然環境局)
堆積汚泥量及び底質等調査等

- ・国交省、東京都とも連携

皇居外苑濠水環境改善のための本格的事業の実施